

校長短信

H28. 6. 6

No. 2

広島県立
大柿高校
Tel: (0823)
57-2055

【返礼率大幅アップ】

前号で記したように、毎朝大原交差点で「ひとり挨拶運動」を展開しています。それを見かねたのか六月一日（水）、3年生のN君が「僕も立ちます」と横に並んでくれました。さらに翌朝はU君も。やれ、嬉しいやら心強いやら。驚いたことに、くたびれた中年のオッサンが挨拶するよりも、さわやかな高校生が挨拶した方がドライバーの「返礼率」が格段に上がるのです。他の生徒たちは「わっ！校長に洗脳されとる！」とおっかなびつくり脇を通り過ぎてゆきます。

【芸北分校へ訪問】

五月二一日（土）、1年生全員が加計高校芸北分校を訪問し中高合同体育祭に参加させていただきました。「超元気」の芸北分校生に圧倒されながらも、全員参加の綱引きに加えて急遽八〇〇メートル駅伝競走にも飛び入り参加するなど、どうして



【全生徒との校長面談】

なかなか柿高生もよく頑張りました。芸北の先生方からも「大柿高校生はすごく感じがいいですね！」等々大いにお褒めの言葉をいただきました。受けた刺激を今後の学校生活に生かします。芸北の皆様、本当にお世話になりました。

五月から全生徒面談をしています。現在七割がたの生徒が終わりました。これが実に面白く楽しい！ 学校や日常生活のこと、趣味や特技、進路希望など、とりとめもなく話を交わした後、いじめ・体罰・セクハラ等がないか確認して終わります。普段は挨拶を返してくれない生徒や若干服装が乱れている生徒も、少しでも服装を整え、やや緊張して入室し、ぎこちない敬語を駆使して一生懸命話そうと努めてくれます。

入るなり大方の生徒は決まって室内をきよろきよろと見回します。「校長室に初めて入った」「ここに校長室があるということも知らなかった」という生徒がほとんどです。入ったことのある子は「生徒指導で怒られた」というこ

とでした。これではいけません。もつと開かれた、風通しの良い校長室にしたいと思います。授業も部活も持たない私は、生徒と直接話をする機会がありません。だから前任校から全生徒面談をしてきました。至福のひとつときです。来月も全員面談をします。というか、お約束の「校歌を三番まで暗譜で歌うテスト」です。しつかり覚えてまた校長室で会いましょう！

【今後のことなど】

来週十八日（土）午前九時からグラウンドに天然芝を植え付けます。3万株なので手数が要ります。地域の皆様、どうか御協力ください。七月には高校野球の全校応援を、八月には市内の中3生全員と全県全国の希望者を集めるオープンスクールを、秋には何十年ぶりに復活する「体育祭」を、さらに十一月にはステージ発表を主体とした新生「柿高祭」を開催します。大柿高校は日々進化しています。

巻末エッセイ「浜の真珠」

通勤余話

毎朝四十余キロを車で通う。芸北の半分の距離である。冬の雪もなさそうだ。何より翠町から呉まで三十分というのに驚嘆した。隔世の感である。

昔から潜水艦が好きで、年に何度かわざわざ因島から見にきていた。それが毎日拝めるようになると思ってもみなかった。ありがたやありがたや。ほとんど神仏に祈るように、朝夕潜水艦に手を合わせる。

広島から船とバスを乗り継いで通う生徒もいる。毎日来るだけで立派である。苦勞して通う分、強く賢くなってほしいと切に願うところである。（海坊主）